

令和8年度 和歌山市立有功中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 田中 裕美

作成日 令和8年5月1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学びの喜びを時間できる学校
- 生徒指導教育の充実と社会規範意識の向上
- 道徳・人権教育の充実
- 子どもの学力向上
- 社会性のより良い発達の促進
- 地域に誇りをもってほしい

【学 校 教 育 目 標】

自ら考え 自ら学ぶ

【めざす生徒像】

- ・自分を大切にするとともに、人を大切にする生徒(互助・共生)
- ・自ら考え、自ら判断し、解決に努める生徒(自治力)
- ・正しく判断し、実践できる生徒
- ・言葉づかいを大切にする生徒
- ・自分の長所を知り、伸ばしていこうとする生徒
- ・健康でたくましく、体力のある生徒

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいる
- 学校生活が落ち着いてきている
- 各関係機関や小学校との連絡、連携が充実してきた
- 人権、道徳授業が充実してきた
- 地域との連携ができていた

児童(生徒)の実態

- 時間を守って行動ができる
- 明るく挨拶ができる
- 規範意識の向上途中である
- 家庭学習の定着率が低い
- 主体的に学習する力が弱い
- 自主、自立に少々かける

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎学び合いの授業づくりの推進
- 指導方法等の授業工夫改善
- 読書活動の推進
- 家庭学習の定着

豊かな心の育成

- ◎人権・同和教育の推進
- ◎道徳教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎不登校の改善
- ◎学び合いの授業づくりの推進

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎学校運営協議会の充実
- ◎家庭・地域との連携充実
- 小学校との連携・協力
- 関係機関・学校間の連携の推進

具体的な取組

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業力を身につけるための「学び合いの授業づくり」の実践的授業研究
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底
- GIGAスクール構想の実現(適切なICT環境の整備)
- 家庭学習推進を図るため、生徒理解を進め、課題等の工夫
- 朝読・朝学の継続
- 図書館教育の充実

- 人権・同和の特設授業の実施
- 平和学習の実施
- 道徳教育の充実
- ふるさと学習の実践
- 職場体験学習の実施
- いじめなくそうデーを毎月第1週目、いじめアンケート及び教育相談を年間3回実施、早期発見、早期対応
- キッズサポートスクール、情報モラル教室を実施
- 安心して学ぶことができる授業づくり

- 「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進
- 避難訓練、交通安全指導の実施
- がん教育・性教育の実施
- 体育的行事の充実と計画的体力向上を目指す
- 部活動の推奨

- 学校運営協議会の開催
- 学校HPの充実
- 学校行事等の広報
- 地域事業への参加・協力
- 地域人材の活用
- PTAとの連携・協力
- 学校開放月間の実施
- 毎月のおはよう運動の実施
- 小学校との交流の工夫・充実

指標

- 授業がわかりやすい生徒の割合(90%)
- 学力調査の正答率が県平均と同等以上

- 「学校が楽しい」と感じる生徒(90%)
- 自分には良いところがある(80%)
- いじめ解消率(100%)
- 学び合い授業づくりに基づく授業の実施率(100%)

- 十分な睡眠や朝食を摂っている生徒(90%)
- 積極的に運動を行うように計画し実践した(教師90%)
- スポーツ実施率 週3回以上(80%)

- 学校の様子がよく伝わった保護者の割合(90%)
- 中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと